

第8回庁議(平成20年10月30日)

新市建設計画(後期計画) 庁議報告事業一覧

具体的施策(事業名)	担当部	担当課
防災行政無線整備事業(別子山地区)	総務部	防災安全課
地球温暖化防止森林環境保全整備事業	経済部	農林水産課
別子山飲料水供給施設整備事業		別子山支所
筏津山荘改築事業		運輸観光課
別子はな街道トイレ整備事業		運輸観光課
消防団詰所の整備	消防本部	総務警防課

全体 事業計画	・基本設計委託料 一式 ・実施設計委託料 一式 ・[別子山分]親局1 屋外拡声子局7 戸別受信機 130 ・[旧市分]親局1 屋外拡声子局23(公民館の避難所)、中継局 [H19.2企財会決定事項]・別子山と旧新居浜市を分けて整理したのを作ってください。 ・別子山の再整備のスケジュールを作ってください。 ・防災行政無線の整備については、別子山を中心に行う。詳細計画に着手し、旧新居浜市分については、計画が出来た時点で詰める。 ・新市建設計画(後期:H20~H25)に、防災無線整備を登載する。(平成19年度10か年実施計画へ登載(維持管理費を含む)※部局枠外) ・新市建設計画に登載するため、10か年実施計画には、合併特例債を全体調整後登載するが、金額については、決定事項ではない。 ・事業の財源として、合併特例債(事業全体)、別子山振興基金(旧別子山村分)を充てる。 [H20. 8企財会決定事項]新居浜と旧別子山をデジタル60Mで21年度に実施設計し22年度に工事着工、完成の予定で整備し親局を新居浜市に置き中継局を整備する。新居浜市分については新居浜市内全体に情報伝達するための調査費用及び整備方法を作ってください。													事業方針
														3 後期計画 どおり実施 予定
年度 H15	事業内容						年度 H20	事業内容						
H16							H21	基本設計委託料 2,000千円 実施設計委託料 5,000千円						
H17							H22	[別子山分設置費]155,553千円 208,607千円 親局1 屋外拡声子局7 戸別受信機 130 他 206,535千円 施行管理費 2,000千円 申請手数料 72千円						
H18							H23	[旧市分設置費]205,899千円 163,645千円 親局1 屋外拡声子局40(公民館、小学校等の避難所)、中継局 23 他 160,965千円 保守点検料 2,450千円 申請手数料 175千円 電波利用料 55千円						
H19							H24	保守点検委託料外 4,013千円 4,198千円						
							H25	保守点検委託料外 4,013千円 4,198千円						
区分	全体事業費	前期計	後期計	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
事業費	385,648	0	385,648							5,000	208,607	163,645	4,198	4,198
	0	0	0											
国庫支出金	0	0	0											
	0	0	0											
県支出金	0	0	0											
	0	0	0											
地方債	355,700	0	355,700							4,700	198,100	152,900		
	0	0	0											
その他	10,507	0	10,507								10,507			
	0	0	0											
一般財源	19,441	0	19,441	0	0	0	0	0	0	300	0	10,745	4,198	4,198
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注 単位 千円 前期はH15~H19 後期はH20~H24-H25
地方債は特例債

上段 H15~19決算額、H20~10か年実施計画額

下段 当初計画

年度	事業内容						年度	事業内容						事業方針
	全体事業費	前期計	後期計	H15	H16	H17		H18	H19	H20	H21	H22	H23	
	別子山地域の森林は、木材価格の低迷・社会状況の急変により保育の中断した森林が多く、適切な森林の施業実施が望まれている。豊かな森林・自然環境こそ貴重な地域資源であり、持続的な森林の保全と活用が求められている。また、地球温暖化防止の対策の一環としても森林整備は有効な手段であり、良好な状態で次世代に引き継ぎ、市民が潤いと安らぎを感じられる場や機会の充実にも努める。 全体事業費 民有林森林整備500ha 57,750千円 森林作業体験学習会開催(年2回×5ヵ年)一式2,000千円 計 59,750千円 うち市費分 民有林森林整備500ha 16,500千円 森林作業体験学習会開催(年2回×5ヵ年)一式2,000千円 計 18,500千円													事業方針
	市費分のみ抽出													2
H15							H20	モデル森林造成等 100ha 事業費 85,000千円(国30,000 市55,000) 教育啓発フィールド造成等 10ha 事業費18,000千円(国4,000 市14,000) 森林整備(除・間伐)100ha 事業費11,550千円(国6,205県2,045市3,300) 体験学習400千円						
H16							H21	モデル森林造成等 100ha 事業費 85,000千円(国30,000 市55,000) 教育啓発フィールド造成等10ha 事業費18,000千円(国4,000 市14,000) 循環型木材利活用加工施設一式事業費150,000千円(国75,000 市75,000) 森林整備(除・間伐)100ha 事業費11,550千円(国6,205県2,045市3,300) 体験学習400千円						
H17							H22	モデル森林造成等 100ha 事業費 85,000千円(国30,000 市55,000) 教育啓発フィールド造成等10ha 事業費 18,000千円(国4,000 市14,000) 循環型木材利活用加工施設一式事業費150,000千円(国75,000 市75,000) 森林整備(除・間伐)100ha 事業費11,550千円(国6,205県2,045市3,300) 体験学習400千円						
H18							H23	モデル森林造成等 100ha 事業費 85,000千円(国30,000 市55,000) 教育啓発フィールド造成等10ha 事業費18,000千円(国4,000 市14,000) リサーチセンター建設 150坪 事業費 150,000千円(市150,000) 森林整備(除・間伐)100ha 事業費11,550千円(国6,205県2,045市3,300) 体験学習400千円						
H19	地球温暖化防止森林管理システムモデルづくり事業調査委託 一式 事業費 10,000千円						H24	モデル森林造成等 100ha 事業費 85,000千円(国30,000 市55,000) 教育啓発フィールド造成等 10ha 事業費18,000千円(国4,000 市14,000) 研究施設 一式 事業費 210,000千円(市210,000) H23と同事業						
区分	全体事業費	前期計	後期計	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
事業費	18,500	0	18,500	0	0	0	0	0	3,700	3,700	3,700	3,700	3,700	
	1,185,000	10,000	1,175,000	0	0	0	0	10,000	103,000	253,000	253,000	253,000	313,000	
国庫支出金	0	0	0											
	320,000	0	320,000						34,000	109,000	109,000	34,000	34,000	
県支出金	0	0	0											
	0	0	0											
地方債	0	0	0											
	812,100	0	812,100						65,500	136,800	136,800	208,000	265,000	
その他	0	0	0											
	0	0	0											
一般財源	18,500	0	18,500	0	0	0	0	0	3,700	3,700	3,700	3,700	3,700	0
	52,900	10,000	42,900	0	0	0	0	10,000	3,500	7,200	7,200	11,000	14,000	0

注 単位 千円 前期はH15～H19 後期はH20～H24 H25

上段 H15～19決算額、H20～10ヵ年実施計画額

下段 当初計画

全体事業計画	別子山地域飲料水供給施設整備 1式 【H20. 10 10ヵ年計画変更協議(決済処理)決定事項】 別子山地域の飲料水供給施設整備事業については、現在の33給水区を8給水区程度に整理統合し、安全・安心・安定した飲料水の供給を図ろうとするものである。事業費については、後期新市計画に基づき、565,560千円とするが、年度毎の事業計画については、平成21年度に基本計画策定、平成22年度実施設計、平成23年度～25年度において、施設整備を実施することとする。													事業方針
														4 後期計画の事業年度変更
年度	事業内容				年度	事業内容								
H15					H20	該当事項なし								
H16			H21	実施設計委託 10,000千円	H21	基本構想(基本計画)策定 1式 C=12,500千円								
H17			H22	水道施設整備一式 207,267千円 ・瀬場、床鍋、床鍋(2) ・肉淵、芋野、小美野 ・配水管及びポンプアップ等	H22	詳細設計(実施設計) 1式 C=50,400千円								
H18			H23	水道施設整備一式 197,827千円 ・登美野 ・大元、竹ヶ市 ・配水管及びポンプアップ等	H23	施設整備(工事請負) 3統合給水区 C=188,500千円								
H19			H24	水道施設整備一式 150,466千円 ・南光院、弟地、筏津	H24	施設整備(工事請負) 3統合給水区 C=188,500千円								
					H25	施設整備(工事請負) 2統合給水区 C=125,660千円								
区分	全体事業費	前期計	後期計	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
事業費	565,560	0	565,560							12,500	50,400	188,500	188,500	125,660
	1,200,000	0	1,200,000						40,000	330,000	330,000	330,000	170,000	
国庫支出金	0	0	0											
	0	0	0											
県支出金	0	0	0											
	0	0	0											
地方債	525,100	0	525,100								47,800	179,000	179,000	119,300
	1,047,200	0	1,047,200							302,100	302,100	302,100	140,900	
その他	40,460	0	40,460							12,500	2,600	9,500	9,500	6,360
	0	0	0											
一般財源	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	152,800	0	152,800	0	0	0	0	0	40,000	27,900	27,900	27,900	29,100	0

注 単位 千円 前期はH15～H19 後期はH20～H24 H25 上段 H15～19決算額、H20～10ヵ年実施計画額 下段 当初計画
地方債は特例債

全体事業計画	別子山の観光拠点、地域の活性化を目指して、昭和51年に建築され宿泊施設として好評を得てきた。しかしながら、老朽化、規模、機能の不備などにより観光客に対して十分とはいえない状況である。来訪者の増、特に登山者の増加に対応した施設、山岳観光の拠点として、さらには、筏津地域の歴史的地域性を生かした近代化産業遺産を活用したまちづくりの核施設として改築整備する。 ・内容 構造 鉄筋コンクリート造3階建 床面積 約1,100㎡ 1棟													事業方針 3 後期計画 通り実施予定
	年度	事業内容						年度	事業内容					
H15							H20							
H16							H21 (過疎債対象)	建設工事(30%、公園整備含む) 84,000千円、事務費 96千円 実施設計委託 7,000千円、工事監理委託(30%) 1,786千円						
							H21 (過疎債外)	橋梁補強工事 4,000千円、旅費・アドバイザー謝金等 170千円 開業前業務委託 6,900千円、基本設計委託 1,854千円						
H17	実施設計	地質調査等	C=10,000千円				H22 (過疎債対象)	建設工事(70%、公園整備含む) 182,000千円、事務費 451千円						
			C=5,119千円					備品購入(コンピュータ、レジ、厨房機器 20万円以上5年以上) 5,000千円						
	本体工事		C=17,000千円					工事監理委託(70%) 3,640千円						
	什器備品		C=5,032千円				H22 (過疎債外)	周辺整備工事(筏津坑、キャビンアプローチ整備等) 4,000千円、解体 20,000千円 開業前業務委託 8,000千円、備品購入(家具等)17,000千円、旅費等 293千円						
			C=10,000千円											
H18	現地測量設計・基本設計 アドバイザー謝金 基本構想策定支援業務等		C=126,000千円 C=4,809千円				H23							
H19							H24							
							H25							
区分	全体事業費	前期計	後期計	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
事業費	356,030	9,840	346,190			5,032	4,808		0	105,806	240,384			
	356,000	356,000	0			356,000								
国庫支出金	0	0	0											
	0	0	0											
県支出金	0	0	0											
	0	0	0											
地方債	283,800	0	283,800			0	0			92,800	191,000			
	338,200	338,200	0			338,200								
その他	72,230	9,840	62,390			5,032	4,808			13,006	49,384			
	0	0	0											
一般財源	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	17,800	17,800	0	0	0	17,800	0	0	0	0	0	0	0	0

注 単位 千円 前期はH15～H19 後期はH20～H24 H25

上段 H15～19決算額、H20～10か年実施計画額

下段 当初計画

地方債は 特例債 過疎債

全体事業計画	交流活発化、観光客の増加に合わせた別子はな街道沿いで公衆トイレ等の整備を図る。 ・内容 トイレ整備 3ヶ所											事業方針
												3 後期計画 通り実施予定

年度	事業内容						年度	事業内容					
H15	遠登志トイレ整備 委託料 C=1,000千円 本体工事費 C=21,000千円 修景施設 C=4,000千円						H20	遠登志トイレ整備 本体工事 C=4,817千円					
H16	大永山トイレ整備 委託料 C=1,000千円 本体工事費 C=21,000千円 修景施設 C=4,000千円						H21	別子山トイレ整備 設計工事一式 C=18,488千円 設計工事一式 C=18,000千円					
H17	別子山トイレ整備 委託料 C=1,000千円 本体工事費 C=21,000千円 修景施設 C=4,000千円 日浦トイレ整備 設計工事一式 C=18,174千円 設計工事一式 C=17,459千円						H22						
H18							H23						
H19	遠登志トイレ整備 設計工事一式 C=19,012千円 設計工事一式 C=14,260千円 設計工事一式 C=6,230千円						H24						
							H25						

区分	全体事業費	前期計	後期計	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
事業費	46,506	23,689	22,817			17,459		6,230	4,817	18,000				
	78,000	78,000	0	26,000	26,000	26,000								
国庫支出金	0	0	0											
	0	0	0											
県支出金	0	0	0											
	30,000	30,000	0	10,000	10,000	10,000								
地方債	40,100	18,500	21,600			14,400		4,100	4,500	17,100				
	45,600	45,600	0	15,200	15,200	15,200								
その他	3,959	3,059	900			3,059				900				
	0	0	0											
一般財源	2,447	2,130	317	0	0	0	0	2,130	317	0	0	0	0	0
	2,400	2,400	0	800	800	800	0	0	0	0	0	0	0	0

3,058,663
県補償金2,087,187

注 単位 千円 前期計 H15～H19 後期計 H20～H24 H25 上段 H15～19決算額 H20～24年度予算計画額 下段 当初計画

全体事業計画	別子山村地区が編入されるため、消防体制の整備を行う。 別子山分団は、過疎化及び高齢化に伴い、団員数の確保が困難な状況であることに加え、詰所等が弟地、瀬場、肉渕、成の4箇所に分散されているため、施設、車両等の維持管理も困難になっている。そのため、組織を再編し4箇所に分散されている施設を1箇所に統合しするため、新しい消防団詰所の建設が必要であるを建設する。													事業方針
														3 後期計画 どおり実施 予定
年度	事業内容						年度	事業内容						
H15	無線中継局の整備 89,000千円 緊急通信指令施設 420,598千円 無線機の整備 6,550千円						H20							
H16	緊急通信指令施設 315,559千円 328,592千円 H16決算 315,559千円 H17繰越 13,033千円						H21	耐震性防火水そうの整備 12,966千円 11,403千円 40t級						
H17	耐震性防火水そうの整備 12,966千円 9,271千円 40t級 天皇橋 入札減少の結果						H22							
H18							H23	消防団詰所の整備 36,593千円						
H19	耐震性防火水そうの整備 12,966千円 内訳 設計 工事費						H24	耐震性防火水そうの整備 12,966千円 5,017千円 40t級 成地区						
							H25							
区分	全体事業費	前期計	後期計	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
事業費	463,400	415,404	47,996	72,524	328,592	9,271		5,017		11,403		36,593		
	591,639	542,080	49,559	516,148		12,966		12,966		12,966		36,593		
国庫支出金	77,694	77,694	0	0	77,694	0		0		0				
	54,134	51,516	2,618	46,280		2,618		2,618		2,618				
県支出金	0	0	0											
	0	0	0											
地方債	359,900	313,800	46,100	67,800	232,400	9,200		4,400		11,400		34,700		
	510,400	465,900	44,500	446,300		9,800		9,800		9,800		34,700		
その他	0	0	0		0									
	0	0	0											
一般財源	25,806	23,910	1,896	4,724	18,498	71	0	617	0	3	0	1,893	0	
	27,105	24,664	2,441	23,568	0	548	0	548	0	548	0	1,893	0	0

注 単位 千円 前期はH15～H19 後期はH20～H24 H25

上段 H15～19決算額、H20～10か年実施計画額

下段 当初計画

地方債はH17 10、21過疎債 15、16、22特別債